救世論文１

再掲出

## 現天皇徳仁への決死諫言

# 人類滅亡を防げ

お前まさか、天皇の務めは「祈り」だなどと能天気な勘違いをして、この人類存亡の超絶非常時に、皇居の奥で惰眠を貪っているのではあるまいな。

そんな祈りに、たとえ微塵でも効力があったなら、広島・長崎の大災禍も、福島原発の大事故も防ぎ得たはずだ。

それにそもそもだ。「神仏」の何たるか、「人間」の何たるか、「幸せ」の何たるかなどなど、何一つろくすっぽ知りもしないお前が、一体全体だれに対して何をどう祈り願おうと言うのか。

先代も同じだ。先々代も同じだ。いや歴代の全天皇が皆同じだ。祈って祈って平和どころか大争乱を、幸せどころか大不幸を招来し続けただけではないか。

この人類存亡の超絶非常時に、お前がまた同じ茶番を繰り返すなら、今度こそ本当に日本滅亡、いやいや人類滅亡が現実のものとなってしまうぞ。

**徳仁お前は、先代までのような単なるお飾り天皇ではないのだ。「人類根本救済」を成し遂げるべき、神聖なる天命を背負った「救世天皇」であるのだ。**

それが証拠に、お前に先んじて「覚者播磨屋助次郎」が出現し、三十年近くも前から、救世天皇たるべき心構えを教え続けてきているではないか。

有史以来、人類を本気で根本救済するべく生きた「本物の覚者」は、私の知る限り日本のアマテラス（男性のはず）とインドのシャカの二人だけだ。

**二人は「不自然」を戒め「自然」に返れと警告し続けた。しかし、人々はその深意が理解できず、全く不自然な「名声や富の追求」をやめなかった。その揚げ句の果てが、現在のこのザマなのだ。**

そんな今、三人目の「本物の覚者」が現れて、救世天皇たるべきお前に、先の二人と同じ警告を発し続けているのだ。

更には、お前自身の「真心」も、警鐘を激しく乱打し続けているはずだ。

**にも拘（かかわ）らず、知らぬ顔をして無視を決め込むとは、何たる無責任か！何たる不誠実か！真実猛省せざるべからず！**

現下の日本は、食糧も燃料も核兵器も自前ではないのだ。まともな独立国としての体を全く成してはいないのだ。

人類存亡の元凶たる核兵器はともかくとして、食糧の大半と燃料の全量が外国依存で、一体どうやって一億二千万もの自国民の命を守り抜くと言うのか。

腐り切った現行政府など論外故に、最後は必ず、お前が矢面に立たされるぞ。

**が、そうなる前に自ら覚者に協力要請し「人類根本救済」に正対せよ。それこそが、お前本来の聖使命なのだからだ。**

人類は、何千年にも亘って悪夢を見続けてきた故に「人生の真実」をすっかり忘れてしまっているだけなのだ。

アマテラスの教えを伝える神道の宗主として、世界随一の悠久なる尊い伝統を受け継ぐお前が、真実真剣に啓蒙し直しさえすれば、万国万人全てがハッと気づいて我に返るに決まっているのだ。

「人類滅亡」を望む人間など、ただの一人もいるはずがないのだからだ。

**徳仁よ！警察か公調※ルートで届く、私宛の協力要請親書を心底鶴首して待つ。**

令和四年晩秋※

覚者播磨屋助次郎　神託急告

※　弊社ホームページに公開した日付です。　※　公安調査庁のこと。